

第1回City-Region MAPプログラム 講座一覧

SCI-Japan

講座 NO	【シリーズ名】 講座名	講師 講座概要	開催日時
A1	市民の幸福度を高めるスマートシティの思考の枠組み	講師概要 SCI-Japan専務理事 南雲岳彦 スマートシティの最終的なゴールは、市民の幸福度（Well-Being）を高めることにあります。この長期目標に向かってスマートシティ戦略をどう考えていくべきなのか、SCI-Japanが開発したLiveable Well-Being City指標の枠組みや活用方法も交えながら、日本型スマートシティの戦略・思考の枠組みについて解説します。	2022年10月20日（木） 18:00～19:30 （90分）
A2	市民、行政、企業をつなぐネットワーク型のまちづくり	講師概要 一般社団法人コード・フォー・ジャパン プロジェクトマネージャ(MoC) 酒井 一樹氏 MoC（Make our City）とは、全国各地で都市に関わるひとり一人の「やりたい！」を実現するために、市民、行政、企業をつなぐネットワーク型のまちづくりのチャレンジです。多様な人がまちづくりに参加できる仕組みを作るために、「わたし」のエンパワーメント、暮らしの質をとらえる、暮らし作りの基盤整備の3つをMISSIONに掲げて取り組んでいます。さあ、まずはあなた自身が「わたし」となって、やりたいことを実現してみませんか？	2022年10月25日（火） 18:00～19:30 （90分）
A3	【地域活性推進論「まちづくりとひとづくりのすすめ」】 地域イノベーション論	講師概要 JTQ株式会社 代表 スペースコンポーザー 谷川じゅんじ氏 まちはひとでできている。地域の実態とは、まちに係る「ひと」の状態。地域のイノベーションを「地域に住むひと」「地域に働くひと」「地域を訪れるひと」の意識が変わることと捉えることで、具体的な施策思考へとつなげていく。第三者目線で地域を掘り起こし、素材や素養を分析し再構築する。抱える社会課題と向き合うためのイノベーション＜進化＞はどのようなプロセスを経ることで実現可能となるか。地域固有のキャラクター＜地域の文化と地域の魅力＞を第三者目線で分析。これまでの事例を交えながら紐解いていきます。	2022年11月9日（水） 18:00～19:30 （90分）
A4	【地域活性推進論「まちづくりとひとづくりのすすめ」】 地域ウェルビーイング論	講師概要 JTQ株式会社 代表 スペースコンポーザー 谷川じゅんじ氏 「健康とは、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態(Well-Being)にあることをいう」1948年に書かれた世界保健機関憲章前文の一文であり、ここに初めてウェルビーイングという言葉は誕生した。地域に暮らす多種多様な人々が、それぞれに満たされる状態とはどのような状況や状態から生まれるのか。「コミュニティ」とコミュニティに属する住民「ネイバーフッド」はどのような過程から生まれ、土地に根ざしていくのかを考察。満たされた状態が生まれ持続するプロセスを紐解いていきます。	2022年12月14日（水） 18:00～19:30 （90分）

第1回City-Region MAPプログラム 講座一覧

SCI-Japan

講座 NO	【シリーズ名】 講座名	講師 講座概要	開催日時
A5	【地域活性推進論「まちづくりとひとづくりのすすめ」】 地域サステナビリティ論	講師 概要 JTQ株式会社 代表 スペースコンポーザー 谷川じゅんじ氏 地域のサステナビリティ（持続可能性）はどうすれば高まっていくのか。「人口減少」「超高齢化社会」「流動化する人々」が複雑に絡み合い予測困難な社会情勢が刻々と生み出されていく。環境、経済、社会活動など視点は多岐に渡り検討すべき範囲や事項も数限りなく感じられる。本講座では「不確実な時代」の中で変わらない普遍要因を「ひと」と捉え、まちづくりプロセスの中における人々のこころ・身体・知性・人間関係・感動の共鳴・循環を考察する。どの時代も、先人がつくった社会を、次世代が受け取り育み、次の世代へ紡いできた事実を踏まえ、次世代へと受け継ぐバトンのデザインを紐解いていきます。	2023年1月18日（水） 18:00～19:30 （90分）
B1	【弁護士が読み解くスマートシティに関する法務問題：その1】 スマートシティに関する法令紹介	講師 概要 TMI総合法律事務所 弁護士 尾形和哉氏、山郷琢也氏、寺門峻佑氏他 スマートシティの取り組みにおいて、頻出するキーワード（個人情報、データ連携基盤、通信インフラ整備、防災、行政サービス、資金決済、交通（自動運転他）、観光、物流、遠隔治療、遠隔操作ロボット、ドローン、農業、エネルギー、労働、教育、企業経営）に関する法規制を当該分野について詳しい弁護士によってダイジェストで紹介します。	2022年12月6日（火） 18:00～19:30 （90分）
B2	【弁護士が読み解くスマートシティに関する法務問題：その2】 地方自治体の取り組みと課題	講師 概要 TMI総合法律事務所 弁護士 境田正樹氏、尾形和哉氏他 地方自治体においてスマートシティに向けた具体的な取り組みを紹介するとともに、住民の意思形成における課題、予算確保に関する課題、法令上の制限に関する課題など、各課題への取り組み状況について、法的観点を中心に解説します。	2023年1月31日（火） 18:00～19:30 （90分）
B3	【弁護士が読み解くスマートシティに関する法務問題：その3】 データ利活用・データ連携基盤、通信インフラ整備に関する法規制	講師 概要 TMI総合法律事務所 弁護士 山郷琢也氏、寺門峻佑氏他 個人情報を含むデータの取扱いや、そのデータをつなぐ通信に関する規制は、最初に確認すべき事項となります。有効にデータを活用するために必要となるステップについて解説します。	2023年2月15日（水） 18:00～19:30 （90分）

第1回City-Region MAPプログラム 講座一覧

SCI-Japan

講座 NO	【シリーズ名】 講座名	講師 講座概要	開催日時
C1	【サービスデザイン・体験デザイン】 人間中心で考えるスマートシティサービスのデザイン	講師概要 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任助教 山崎真湖人氏 スマートシティサービスを構想するプロセスとその流れを、参加者によるグループワークを通じて体験します。指標を用いてスマートシティの状況を捉えた上で市民のためのサービスを考える一連のワークを通じて、スマートシティの展開を進めていく活動のイメージを得ます。より具体的には、LWC指標の概要とその活用法、人間中心のアプローチによるサービス体験の構想、利用者の行動データを取得しサービスの継続的改善を行う考え方を学ぶとともに、市民参加に用いられるワークショップの実例を体験いただけます。	2023年1月14日（土）、 2月25日（土）※ 13:00～17:00 （240分） ※2回のうち、いずれか1回 受講
D1	【先進自治体に学ぶ（浜松市×静岡大学）：その1】 デジタルトランスフォーメーション（DX）で変化する社会	講師概要 静岡大学 情報学部 地域連携推進室 室長 遊橋 裕泰氏 デジタルトランスフォーメーション（DX）とデジタル化は、どこが異なるのか？ DXによって、社会はどのように変化するのか？この問いに答えるべく、DXの提唱から現在に至るまでの概念変化を概観した上で、ビジネス理論との接続を試みます。その上で、地域のコンテンツ流通や、行動情報の活用、地域コミュニティに関して、DXの兆しと考えられる事例を紹介し、また、DXのフロンティアとなる、現実世界と仮想空間の融合を狙っていく方策を検討します。	2022年11月30日（水） 18:00～19:30 （90分）
D2	【先進自治体に学ぶ（浜松市×静岡大学）：その2】 観光とスマートシティ・サービス	講師概要 静岡大学 情報学部 准教授 藤岡 伸明氏 観光業の振興を主要な目的とするスマートシティ・サービスの先進的な事例を紹介し、考察します。それぞれのサービスを実装し、観光振興を実現するために必要となった技術、人材、環境などについて分析し、教訓やヒントを得ます。また、観光業の振興を通じた地域の活性化や地域課題の解決を目指す際に、運営者としてサービスや事業に携わる人々が持つべき意識や認識について、マーケット創出やワーケーション推進の事例をもとに考察します。	2023年2月9日（木） 18:00～19:30 （90分）
D3	【先進自治体に学ぶ（浜松市×静岡大学）：その3】 土木フィールド×情報学による防災研究	講師概要 静岡大学 情報学部准教授／同 土木情報学研究所 所長 木谷 友哉氏 土木フィールドでは多数の計測機器から得られたデータを活用して社会基盤を支えています。近年の機器の情報化により大量のデータが生まれ、それらを正しく取り扱うニーズが増大しており土木工学界でも情報科学を取り入れた土木情報学という分野ができています。本学は国立大最古の情報学部を擁し、情報科学のみならず情報社会学に長けた教員が在籍しています。そこで逆に、情報学分野から土木フィールドへ応用を広げ、安心安全な社会基盤の構築に寄与することを目標として土木情報学研究所を設立しました、本講座では、その研究の一環として土木フィールドデータ×情報科学技術による防災研究について紹介したいと思います。	2023年3月15日（水） 18:00～19:30 （90分）

第1回City-Region MAPプログラム 講座一覧

SCI-Japan

講座 NO	【シリーズ名】 講座名	講師 講座概要	開催日時
D4	【先進自治体に学ぶ（浜松市×浜松医科大学）：その1】 スマートシティの実現に向けた浜松医科大学の取組み	講師 概要 浜松医科大学 理事（教育・産学連携担当）・副学長 山本 清二氏 スマートシティのソリューションとしての医療、介護、ウェルネスには、いずれも医科大学が大きく関与する必要があります。そしてそのような社会を具体的に実現するためには、さらに異なる分野との連携、地域の自治体との連携が必要です。これまで浜松医科大学が取組んできた産学官金連携、地域連携、人材育成等を紹介し、今後はそれらの仕組みと取組みを、どのようにスマートシティの実現につなげていくかについてお話しします。	2022年11月28日月 18:00～19:30 (90分)
D5	【先進自治体に学ぶ（浜松市×浜松医科大学）：その2】 次世代創造医工情報教育センターにおける医学部教育と地域への貢献ーその1ー	講師 概要 浜松医科大学 次世代創造医工情報教育センターセンター長 中村 和正氏 浜松医科大学では、令和4年4月より次世代創造医工情報教育センターを設立し、医学部の立場からアントレプレナーシップ教育、データサイエンス教育に力を入れています。本センターでは学生/大学/病院発ベンチャーの実現促進、Well-beingに資する機器やアプリケーション等の研究・開発を進め、社会ニーズも踏まえた地方創生への貢献にも繋がる先進的な取り組みを実施していく予定です。また医学部附属病院においては、医療の効率化、医師の働き方改革を進めるため、医療DXを推進しています。センター長、副センター長の中村、斎藤が2回にわけて、次世代創造医工情報教育センターの取り組み等について紹介いたします。	2022年12月20日（火） 18:00～19:30 (90分)
D6	【先進自治体に学ぶ（浜松市×浜松医科大学）：その3】 次世代創造医工情報教育センターにおける医学部教育と地域への貢献ーその2ー	講師 概要 浜松医科大学 次世代創造医工情報教育センター副センター長 齊藤 岳児氏 医療/ウェルネスは人間の「生きる」という根源的欲求に直結しており、スマートシティ構想に密接にリンクさせるべき分野です。医科大学には、将来医療者となる学生と彼らを指導する教官がいますが、医学のみならずデータサイエンスに秀でた人材が存在します。彼らの潜在能力を存分に発揮していただくために、SAHMeTというグループが組織され、AIを中心に大学と地域で協働していこうとしています。また、スマート化には自由に発想し行動できる環境が重要であり、年に数回「嘘をつく形でのアイデアピッチ（Flulu）」を開催し、その発表内容に基づき地域企業へプレゼンし、医学に関連する経営人材を産み出そうとしております。さらに、ドローンの活動など、これまで医学部に無縁とされていたような分野にも、産業の垣根を超えるメンタリティーで挑んでいます。今回では、打って出る大学医学部の教育と地域貢献についてお話しさせていただきます。	2023年1月11日（水） 18:00～19:30 (90分)

第1回City-Region MAPプログラム 講座一覧

SCI-Japan

講座 NO	【シリーズ名】 講座名	講師 講座概要	開催日時
E1	オンライン参加型合意形成プラットフォーム Decidimを活用したまちづくりの実践	講師概要 一般社団法人コード・フォー・ジャパン プロジェクトマネージャー(Decidim) 東 健二郎氏 日本では2020年以降、スマートシティにおける住民参加の議論と並行して急速にオンライン参加型合意形成プラットフォームを活用したまちづくりの実践が進んでいます。本講座では、プラットフォームの1つであるスペイン・バルセロナ市発のオープンソースであるDecidim (デジディム) を紹介しながら、①オンラインとオフラインの融合、②住民参加によるまちづくりのプロセス設計、③今後の展望などをテーマに様々なセクターでの活用事例とそのポイントについて解説します。	2023年1月24日 (火) 18:00~19:30 (90分)
E2	【市民参加手法としてのリサーチ&アンケート調査入門：その1】 スマートシティ施策の推進に向けた市民参加の必要性～ マーケティングプロセスを参考に～	講師概要 株式会社インテージ 伊藤 直之氏、伊藝 直哉氏 スマートシティ施策により住民の生活様式が見直され、幸福度・満足度も高めていくためには、住民が抱える課題やニーズ、生活実態をできるだけ詳しく把握し、ターゲットを明確にしたアクションが必要となります。これは、民間におけるマーケティング手法とコンセプトは一致しており、民間での定量・定性データを活用した意思決定手法を参考に、政策立案においてどのような市民参加を行うべきかの理解を得ることを目的とします。	2022年11月10日 (木) 18:00~19:30 (90分)
E3	【市民参加手法としてのリサーチ&アンケート調査入門：その2】 スマートシティにおける市民参加・合意形成手法 の考え方	講師概要 株式会社インテージ 伊藤 直之氏 スマートシティに取り組む自治体では、意欲の高い住民を巻き込んだ「リビングラボ」や「合意形成プラットフォーム」などが市民参加手法として既に取り入れられています。一方で、様々な立場・属性の広い住民からの声を収集するには「アンケート調査」は有効な手法です。スマートシティの政策立案・進捗管理等における市民参加・合意形成手法の種類を紹介し、それぞれの特徴などの理解を深めます。	2022年11月22日 (火) 18:00~19:30 (90分)
E4	【市民参加手法としてのリサーチ&アンケート調査入門：その3】 目的・対象によって使い分ける定量・定性調査手 法	講師概要 株式会社インテージ 伊藝 直哉氏 スマートシティ施策の推進に向けて、市民ニーズの把握、取組状況、評価(幸福度・満足度)の測定は不可欠であり、継続的にモニタリングしていくことも重要となります。調査手法としては、「アンケート調査」のような定量的手法、「グループインタビュー」や「ワークショップ」といった定性的手法がありますが、目的・対象に応じてどのような手法を用いるべきか、メリット/デメリットなども交え、理解を深めることを目的とします。	2022年12月13日 (火) 18:00~19:30 (90分)

第1回City-Region MAPプログラム 講座一覧

SCI-Japan

講座 NO	【シリーズ名】 講座名	講師 講座概要	開催日時
E5	【市民参加手法としてのリサーチ&アンケート調査入門：その4】 「LWC指標」測定のためのリサーチ手法導入の実践	講師 概要 株式会社インテジ 伊藝 直哉氏 自治体の規模や特徴、重点的に取り組むテーマ・領域・施策等に応じて、「Liveable Well-Being City指標(LWC指標)」を適切に測定するための調査手法の選定、調査設計の考え方の理解を深めます。公表されている「LWC指標活用ガイドブック」や「Well-Beingアンケート調査票」に基づき、事例パターンを示しながら、実践に向けたノウハウ・理解の取得を目的とします。	2023年3月2日（木） 18:00～19:30 (90分)
E6	行動変容マネジメント（ソーシャルマーケティング）とは	講師 概要 同志社大学商学部教授／ソーシャルマーケティング研究センター長 瓜生原葉子氏 住民ニーズが多様化・複雑化する中で、政策の実効性を高めるためには、価値観や行動パターンごとにメッセージや施策をテーラーメイドすることが大切です。では、どのように住民の声に耳を傾け、どのような手順で施策を組み立て、どのような指標で評価したらよいのでしょうか？それを手助けするのが「行動変容マネジメント（ソーシャルマーケティング）」です。実装例を踏まえ、どのようにこの考えと手法を使っていたらいいのかを具体的にイメージしていただくことをゴールとしています。 ※ソーシャルマーケティングについての公式サイト： https://o-socialmarketing.jp/	2023年1月12日（木） 18:00～19:30 (90分)
E7	ワークショップ運営の基礎（コミュニケーション）	講師 概要 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 特任助教 山崎真湖人氏 スマートシティでは多様なステークホルダーが関わる中、人々の多様性を理解・考慮しながら、既存の枠にとらわれない発想で課題解決を進めていくことが求められます。ワークショップは、こうした状況に適した手法です。効果的に参加者の意見や関与感を引き出しながら、効率的な解決策の発想を促すためのワークショップを、どのようにして設計し、実行するのか。参加者に創造性を発揮してもらうために、どのような問いかけをするとよいのか。市民とともに考えるスマートシティの実践的ノウハウをお伝えします。	2022年12月8日（木） 18:00～19:30 (90分)
F1	【スマートシティのサービスを支える都市OS・データ連携基盤のつくりかた・つかいかた：その1】 ガイダンス～参加者の課題認識の共有と国内外の検討経緯	講師 概要 一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム 土屋 俊博氏 本セミナーのテーマである「都市OS」「データ連携基盤」といったものについて、スマートシティの構築においてどのような意味を持ち、どのような発想で生まれたのか、その背景や思想、これまで国内を中心とした関連項目について知るとともに、参加者同士で課題認識や興味関心について語り合い、今後の各地域におけるスマートシティ構築における都市OS・データ連携基盤の構築の方針について考えます。	2022年11月1日（火） 18:00～19:30 (90分)

第1回City-Region MAPプログラム 講座一覧

SCI-Japan

講座 NO	【シリーズ名】 講座名	講師 講座概要	開催日時
F2	【スマートシティのサービスを支える都市OS・データ連携基盤のつくりかた・つかいかた：その2】 地域における実装事例（先行自治体でのユースケース、自治体間の連携事例）	講師概要 一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム 国内では2017年に行われた総務省による「データ利活用型スマートシティ推進事業」等を皮切りに、地域におけるデータ利活用基盤の構築が進んでいます。個別自治体における実装の事例および、特に複数自治体共同や広域での構築事例について、その特徴やメリットを探っていきます。	2022年11月24日（木） 18:00～19:30 （90分）
F3	【スマートシティのサービスを支える都市OS・データ連携基盤のつくりかた・つかいかた：その3】 都市OS・データ連携基盤を構築する構成要素について（オープンソース、シェアードソース等）	講師概要 一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム 都市OS・データ連携基盤を構築するために様々な構成要素が存在します。ここではビルディングブロック方式を念頭にしたオープンソースの動向や、政府が標準として定めるシェアードソースについて解説します。	2022年12月22日（木） 18:00～19:30 （90分）
F4	【スマートシティのサービスを支える都市OS・データ連携基盤のつくりかた・つかいかた：その4】 パーソナルデータを取扱うための基盤について	講師概要 一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム スマートシティの分野におけるデータを考えたとき、都市に住む住民の個人情報やプライバシーに関わるパーソナルデータについては避けては通れません。こういったパーソナルデータを取り扱うための基盤・ツール等の状況について解説します。	2023年1月26日（木） 18:00～19:30 （90分）
F5	【スマートシティのサービスを支える都市OS・データ連携基盤のつくりかた・つかいかた：その5】 都市OS・データ連携基盤の実装に向けた進め方	講師概要 一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム 実際に都市OSやデータ連携基盤といったものを地域で構築するに際して、どのように進めたらよいか。主に調達側、導入する側の視点から、他地域での事例について参照し、新たに導入を行うための手順について考えます。	2023年2月22日（木） 18:00～19:30 （90分）
F6	【スマートシティのサービスを支える都市OS・データ連携基盤のつくりかた・つかいかた：その6】 都市OS・データ連携基盤と連携するサービス・アプリケーションの開発に向けて	講師概要 一般社団法人スマートシティ社会実装コンソーシアム 都市OSやデータ連携基盤によって、地域課題の解決や新しい価値の創出に繋がるサービスの開発が進むことが期待されます。ここではデータ連携基盤のデータ仲介機能に準拠したサービスアプリケーションの開発環境を紹介し、サービス開発を支援するための取組について紹介します。	2023年3月23日（木） 18:00～19:30 （90分）